

研究授業の種類は、大研（全員参加）、小研（同部会＆同学年が参加）、自主研があります。4月は大研が1本、小研が2本ありました！今回は大研や事後研の様子をお知らせします。

**大研：総合（6-2）「未来宣言2025～行動するわたしたち～」 授業者 橋本愛先生**

## 生活総合部テーマ：出会い・出合いで深める探究授業



意見をよく聞いて多面的多角的な話し合いができていました。

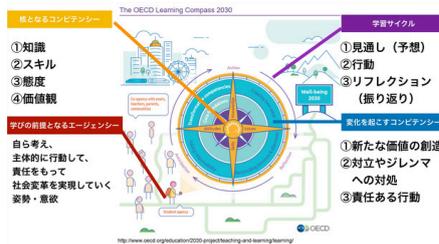


本年度、新たに発足した生活総合部の研究テーマは、「出会い・出合いで深める探究授業」。子どもたち一人ひとりが、さまざまな人や出来事との出あいを通して、自分自身の問いをもち、学びを深めます。6年生の1学期の総合は、「未来宣言2025～行動するわたし」と題して、昨年度の国語の『たずねびと』の学びを起点に、平和学習を軸とした探究に取り組みます。

「なぜ広島へ行くのか？」 「平和とは？」 「自分にできることは？」 ——

こうした問いをもとに、子どもたちは1学期全体を見通した探究計画を立て、平和への自分なりの意味づけを深める学びをスタートしました。この日は、その第一歩となる授業を教職員全員で参観。子どもたちが自らの手で学びをつくる姿に、主体的な学びの始まりを感じる時間となりました。

## 神田小学校カリキュラム・マネジメント “探究ロードマップづくり”



池田市教育委員会より中野正敏指導主事をお招きし、研究授業の指導助言と、今年度の研究の方向性についてご示唆をいただきました。今年度の私たちの取り組みである「教科学習から生活・総合を土台とした探究学習へと進化した背景」をふまえ、ご助言くださいました。

また、次期学習指導要領のキーワードとなる「ラーニング・コンパス」のお話や、「VUCAの時代」（先行き不透明で予測困難な社会）を生き抜く力の必要性にも触れられ、教育観・授業観の転換が急務であるというお話に、大きな刺激を受けました。

その後、学年団で教科を横断して学びを編んでいく「探究ロードマップ」づくりを進めました。これからの探究が、子どもたち自身の「未来を生きる力」となるよう、日々のお出あいと学びを丁寧につないでいきたいと思ひます。

